

～新聞の編集のしかたや記事の書き方に目を向けよう～

「新聞を読もう」

教科書出版社名（ 光村図書 ）

○ 小学校（ 5 ）年 教科等（ 国語 ）

○ 「自ら学ぶ子どもの育成」に向けて、この単元で付けたい力

・興味のある記事を見つけて、感想をもったり関連することを調べたりするなど、能動的に新聞を読もうとする力。

○ 学校図書館活用のポイント

・新聞への興味付けとして、学校図書館にある小学生新聞を活用する。
・小学生新聞に書いてある情報から発展させ、学校図書館にある国語辞典で意味調べをしたり、興味をもったことについて百科事典やその他の本を使って調べたりする。

○ 学習の展開（全4時間）

第1次	・新聞を見て、紙面の特徴や記事の書き方（見出し・リード文・本文）などについて学習する。
第2次	・異なる新聞社の小学生新聞を用いて、同じ出来事を伝える2つの記事を読み、書き方や、紙面のレイアウトの仕方などについて比べ、なぜ違うのか考える。
第3次	・小学生新聞の中から興味をもった記事を選び、要約をしたり、意見や感想を書いたりする。 ・記事から興味をもったことについて、学校図書館の本を用いて調べる。



【取組みを終えて】

○ 学校図書館を活用した学習における成果と課題

① 成果	・小学生新聞を活用することで、記事を読む事への抵抗感が低くなった。 ・自らテーマを決めて調べる活動を通して、本格的な調べ学習への第一歩となった。
② 課題	・新聞記事を読んで概要を把握することや、調べたい内容を見つけることに課題がある。
③ 児童の感想・ふりかえり	・私はあまり新聞を読まなくて、ずっと「新聞は大人が読むものだ」と思っていたけれど、この授業をしたことで、子どもでも読むことができるということが分かりました。 ・図書の授業以外で、本で調べたり読んだりするのが楽しかったし、新聞について調べることも楽しかった。 ・私は子ども新聞をあまり読んだことがなく、うれしかったです。私の新聞の内容はペンギンの話でした。そういう新聞の内容をノートにまとめたりしたことはありませんでした。図書室という落ち着きやすい部屋で、ペンギンの本を読みました。新聞記事との共通点がペンギンだからです。すごく楽しかったから、またやってみたいけど、むずかしかったです。 ・私は令和について調べた。令和の書き順や、なぜ令和になったかなどを調べた。それを知ってすごいなと思った。すごくそれが楽しかった。前まで新聞の見出しだけ見て終わっていたけど、たまに最近はぜんぶ読むようになった。新聞を調べるのもいいと思った。

○ 学校図書館を活用した際に注意した点や学習の中で工夫した点について

・小学生新聞が1人1部ずつ行き渡るように、過去の新聞もストックしておいた。また、内容をあらかじめ確認しておき、児童にとって取り組みやすい内容があるかどうかチェックした。 ・新聞記事から調べたいことを見つけて調べる際には、児童から調べたいキーワードを引き出したり、調べやすい形に変えたりして、児童が意欲的に取り組めるよう支援した。 ・小学生新聞を活用したことで、大人向けの新聞と比べて5年生でも取り組みやすくなった。学級担任も、小学生新聞を用いたスピーチなど今後の活動への展望をもつことができた。 ・百科事典の数が少なく、順番に使ったため時間がかかってしまった。今後は公立図書館から借りるなど、多くの児童が使えるようにしたい。

(参考資料)

『はじめての新聞学習 新聞ってなに?』 童心社 構成・文 古舘綾子/絵 うしろだなぎさ

『はじめての新聞学習 新聞を読んでみよう!』 童心社 構成・文 古舘綾子/絵 うしろだなぎさ

『調べ学習ナビ 新聞編』 理論社 山本紫苑・調べ学習ナビ編集室